



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年11月13日

東

上場会社名 株式会社ナフコ 上場取引所
 コード番号 2790 URL http://www.nafco.tv
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 卓巳
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 中村 克彦 (TEL) 093-521-7030
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 平成27年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の業績 (平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	117,360	2.5	5,572	25.2	5,879	27.1	3,191	25.9
27年3月期第2四半期	114,522	0.3	4,451	△21.0	4,627	△20.3	2,535	△19.1
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
28年3月期第2四半期	107.15		—					
27年3月期第2四半期	85.13		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	222,735	129,506	58.1	4,348.18
27年3月期	212,545	126,885	59.7	4,260.16

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 129,506百万円 27年3月期 126,885百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	19.00	—	19.00	38.00
28年3月期	—	19.00			
28年3月期(予想)			—	19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	233,000	4.8	10,200	39.6	10,400	35.6	5,900	46.8	198.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「サマリー情報（注記事項）に関する事項」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

28年3月期2Q	29,784,400株	27年3月期	29,784,400株
28年3月期2Q	294株	27年3月期	294株
28年3月期2Q	29,784,106株	27年3月期2Q	29,784,143株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10
4. 補足情報	10
(1) 商品部門別販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀による経済・金融政策を背景に緩やかな回復を継続してまいりましたが、8月の世界同時株安や円安に伴う原材料コストの上昇により、個人消費は力強さを欠く状況で推移いたしました。

家具・ホームセンター業界におきましても、異業種を含めた企業間競争の激化がさらに継続しており、非常に厳しい経営環境となっております。

このような状況の中で当社は、「お客様満足度100%」の経営理念のもと、お客様志向の徹底とお客様のニーズに合った商品政策の強化をさらに継続してまいりました。

また、経営基盤の充実のため店舗展開にも取り組み、10店舗の新規出店及び4店舗の増床をいたしました。同時に既存店の見直しも行い4店舗を閉鎖いたしました。これにより当第2四半期会計期間末の店舗数は、32府県にわたり358店舗となりました。

売上高1,173億60百万円（前年同期比2.5%増）、売上総利益389億85百万円（前年同期比1.3%増）、売上総利益率33.2%（前年同期比0.4ポイント減）となりました。

また、販売費及び一般管理費は、経費削減効果もあり334億12百万円（前年同期比1.8%減）、対売上高比率は28.5%（前年同期比1.2ポイント減）となりました。

この結果、営業利益55億72百万円（前年同期比25.2%増）、経常利益58億79百万円（前年同期比27.1%増）、四半期純利益31億91百万円（前年同期比25.9%増）となり増収増益となりました。

セグメント業績を示すと、次のとおりであります。

「資材・DIY・園芸用品」は、最も売上構成比の高い当社の主力商品であります。比較的天候不順に影響を受けやすい商品であります。当第2四半期累計期間は、売上高は494億96百万円（前年同期比3.7%増）、売上総利益172億85百万円（前年同期比4.0%増）、売上総利益率は34.9%となっております。

「生活用品」も、天候不順や競合他社との企業間競争が大きく影響している商品であります。当第2四半期累計期間は、売上高は335億7百万円（前年同期比4.5%増）、売上総利益90億5百万円（前年同期比1.4%増）、売上総利益率は26.9%となっております。

「家具・ホームファッション用品」は、当社の差別化された商品であります。他の商品と同様に天候不順や競合他社との企業間競争の影響を受けております。当第2四半期累計期間は、売上高は244億76百万円（前年同期比2.2%減）、売上総利益97億16百万円（前年同期比2.9%減）、売上総利益率は39.7%となっております。

「その他」は、カー用品、乗り物、ペット用品、灯油他が含まれております。異業種を含め、企業間競争の影響を大きく受けております。当第2四半期累計期間は、売上高は98億79百万円（前年同期比1.7%増）、売上総利益29億77百万円（前年同期比0.8%増）、売上総利益率は30.1%となっております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末の資産合計は、2,227億35百万円となり、前事業年度末と比較して101億89百万円の増加となりました。

(流動資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産の残高は、902億67百万円（前事業年度末比35億90百万円増）となりました。増加の主な要因は、商品の減少（前事業年度末比16億14百万円減）などがあつたものの、現金及び預金の増加（前事業年度末比48億69百万円増）などによるものであります。

(固定資産)

当第2四半期会計期間末における固定資産の残高は、1,324億67百万円（前事業年度末比65億99百万円増）となりました。増加の主な要因は、有形固定資産の増加（前事業年度末比63億3百万円増）などによるものであります。

(流動負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債の残高は、798億76百万円（前事業年度末比77億11百万円増）となりました。増加の主な要因は、支払手形及び買掛金の増加（前事業年度末比29億36百万円増）、未払法人税等の増加（前事業年度末比15億81百万円増）、設備関係支払手形の増加（前事業年度末比33億91百万円増）などによるものであります。

(固定負債)

当第2四半期会計期間末における固定負債の残高は、133億51百万円(前事業年度末比1億43百万円減)となりました。減少の主な要因は、退職給付引当金の増加(前事業年度末比1億99百万円増)や資産除去債務の増加(前事業年度末比4億32百万円増)などがあったものの、長期借入金の減少(前事業年度末比8億28百万円減)などによるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産の残高は、1,295億6百万円(前事業年度末比26億21百万円増)となりました。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、220億77百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、110億88百万円(前年同期比で99億44百万円の増加)となりました。この主な要因は、税引前四半期純利益53億63百万円、減価償却費28億55百万円、たな卸資産の減少額15億99百万円及び仕入債務の増加額29億36百万円などに対し、未払消費税等の減少額13億31百万円などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、41億15百万円(前年同期比で20億66百万円の支出減)となりました。この主な要因は、新規出店に伴う有形固定資産の取得による支出38億57百万円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、21億57百万円(前年同期比で1億11百万円の支出減)となりました。この要因は、長期借入金の返済による支出9億1百万円、リース債務の返済による支出6億90百万円及び配当金の支払額5億66百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

現段階では平成27年8月7日発表時の業績予想の修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,153	25,022
売掛金	2,250	2,618
商品	61,241	59,627
その他	3,031	2,999
貸倒引当金	△0	—
流動資産合計	86,677	90,267
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	62,087	67,111
土地	45,420	46,195
建設仮勘定	1,969	2,161
その他(純額)	3,866	4,179
有形固定資産合計	113,343	119,647
無形固定資産	2,407	2,801
投資その他の資産	10,116	10,019
固定資産合計	125,868	132,467
資産合計	212,545	222,735
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,958	31,894
短期借入金	22,630	22,630
1年内返済予定の長期借入金	1,732	1,658
未払法人税等	768	2,349
未払金	4,443	5,990
設備関係支払手形	6,202	9,593
賞与引当金	1,053	1,155
役員賞与引当金	30	—
ポイント引当金	1,795	1,566
資産除去債務	0	11
その他	4,550	3,027
流動負債合計	72,165	79,876
固定負債		
長期借入金	3,564	2,735
退職給付引当金	2,389	2,589
役員退職慰労引当金	1,485	1,466
資産除去債務	3,663	4,096
その他	2,392	2,463
固定負債合計	13,495	13,351
負債合計	85,660	93,228

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,538	3,538
資本剰余金	4,223	4,223
利益剰余金	119,039	121,665
自己株式	△0	△0
株主資本合計	126,800	129,426
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	84	80
評価・換算差額等合計	84	80
純資産合計	126,885	129,506
負債純資産合計	212,545	222,735

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	114,522	117,360
売上原価	76,048	78,374
売上総利益	38,473	38,985
販売費及び一般管理費	34,022	33,412
営業利益	4,451	5,572
営業外収益		
受取利息	15	15
受取配当金	5	5
受取手数料	102	74
受取家賃	103	103
その他	101	245
営業外収益合計	328	444
営業外費用		
支払利息	89	89
不動産賃貸原価	39	38
その他	23	9
営業外費用合計	153	137
経常利益	4,627	5,879
特別利益		
固定資産売却益	20	13
受取保険金	—	9
資産除去債務戻入額	3	—
特別利益合計	23	22
特別損失		
投資有価証券評価損	0	—
固定資産除却損	7	16
固定資産売却損	1	—
減損損失	205	362
災害による損失	—	151
その他	11	7
特別損失合計	225	538
税引前四半期純利益	4,425	5,363
法人税等	1,889	2,172
四半期純利益	2,535	3,191

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	4,425	5,363
減価償却費	2,745	2,855
減損損失	205	362
無形固定資産償却費	67	82
長期前払費用償却額	38	36
有形固定資産除却損	7	16
有形固定資産売却損益(△は益)	△18	△13
投資有価証券評価損益(△は益)	0	—
その他の営業外損益(△は益)	—	△43
資産除去債務戻入額	△3	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△0
退職給付引当金の増減額(△は減少)	44	199
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	28	△18
賞与引当金の増減額(△は減少)	57	101
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△31	△30
ポイント引当金の増減額(△は減少)	466	△229
受取利息及び受取配当金	△21	△21
支払利息	89	89
災害による損失	—	151
売上債権の増減額(△は増加)	△745	△427
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,477	1,599
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,134	2,936
未払消費税等の増減額(△は減少)	879	△1,331
その他の資産の増減額(△は増加)	45	29
その他の負債の増減額(△は減少)	△249	△55
その他	24	48
小計	4,397	11,702
利息及び配当金の受取額	18	19
利息の支払額	△89	△89
法人税等の支払額	△3,182	△543
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,143	11,088

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,032	△3,857
有形固定資産の売却による収入	57	23
無形固定資産の取得による支出	△103	△217
固定資産の除却による支出	△4	△10
資産除去債務の履行による支出	△34	△54
敷金及び保証金の差入による支出	△104	△66
敷金及び保証金の回収による収入	92	117
投資その他の資産の増減額(△は増加)	△51	△50
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,181	△4,115
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△1,062	△901
リース債務の返済による支出	△670	△690
配当金の支払額	△536	△566
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,268	△2,157
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△7,306	4,814
現金及び現金同等物の期首残高	24,274	17,262
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,968	22,077

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	四半期損 益計算書 計上額 (注)2
	資材・DIY ・園芸用品	生活用品	家具・ホーム ファッション 用品	計			
売上高							
外部顧客への売上高	47,712	32,063	25,032	104,807	9,714	114,522	114,522
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	47,712	32,063	25,032	104,807	9,714	114,522	114,522
セグメント利益	16,626	8,882	10,010	35,519	2,954	38,473	38,473

(注) 1. 「その他」は報告セグメントに含まれない商品区分セグメントであり、内容につきましては、「カー用品、乗り物、ペット用品、灯油他」であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の売上総利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

減損損失について、報告セグメントへの配分を行っていないため記載を省略しております。

当第2四半期累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	四半期損 益計算書 計上額 (注)2
	資材・DIY ・園芸用品	生活用品	家具・ホーム ファッション 用品	計			
売上高							
外部顧客への売上高	49,496	33,507	24,476	107,480	9,879	117,360	117,360
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	49,496	33,507	24,476	107,480	9,879	117,360	117,360
セグメント利益	17,285	9,005	9,716	36,007	2,977	38,985	38,985

(注) 1. 「その他」は報告セグメントに含まれない商品区分セグメントであり、内容につきましては、「カー用品、乗り物、ペット用品、灯油他」であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の売上総利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

減損損失について、報告セグメントへの配分を行っていないため記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 商品部門別販売の状況

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成26年4月1日) (至 平成26年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自 平成27年4月1日) (至 平成27年9月30日)		前年同期比(%)
	金額	構成比%	金額	構成比%	
資材・DIY・園芸用品	47,712	41.7	49,496	42.2	103.7
生活用品	32,063	28.0	33,507	28.6	104.5
家具・ホームファッション用品	25,032	21.9	24,476	20.9	97.8
その他	9,714	8.4	9,879	8.3	101.7
計	114,522	100.0	117,360	100.0	102.5

(注) 各部門の構成内容は次のとおりであります。

資材・DIY・園芸用品	大工道具、建築金物、ペイント、左官用品、園芸用品、水道用品、エクステリア、木材・シェルフ、ルームアクセサリ、作業用品、グリーン、電材
生活用品	家庭用品、季節用品、収納用品、文具、日用品、調理家電、履物、食品、化粧品、アウトドア用品
家具・ホームファッション用品	家具、フロアカバリング、カーテン、インテリア小物、照明、寝具、リフォーム、床材
その他	カー用品、乗り物、ペット用品、灯油他